

さつき SATSUKI

第42号
平成23年9月

発行
社会福祉法人
尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町) TEL (0848) 37-7272
- ワークスさつき (美ノ郷町) TEL (0848) 48-5900
- むかいしま作業所 (向島町) TEL (0848) 44-6460
- 尾道福祉専門学校 (久保町) TEL (0848) 37-2222
- 尾道さつき作業所 (久山田町) TEL (0848) 23-8004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町) TEL (0848) 48-4070
- すだちの家 (御調町) TEL (0848) 77-1122
- 尾道市障害者サポートセンターはな・はな (門田町) TEL (0848) 29-5002

1日体験入学開催中!! ~福祉のプロを目指そう~

尾道福祉専門学校 國岡 義広



▲デイサービスで元気によいしょ!!

尾道福祉専門学校では月に一度1日体験入学(オープンキャンパス)を行っています。福祉のプロを目指す学生や保護者の皆さんに、本校の特徴や、設置法人である社会福祉法人尾道さつき会の事業について、また最近の福祉の動向など、ご理解いただくよい機会になればと考えています。おいしい昼食と記念品付きです。

本校の前身は、1997年に、尾道市が誘致した尾道YMCA福祉専門学校です。2010年4月から尾道さつき会が経営を引き継ぎ、現在に至っています。地域の福祉の充実発展に寄与することを使命とし、長寿時代を支え、新たな道を切り拓く介護福祉士の養成に取り組んでいます。

1日体験入学では、本校の教育活動

の紹介や、授業料・奨学金、入学試験についての情報をお伝えしています。また模擬授業も体験できます。模擬授業を進めるのは在校生と教員なので、日頃の様子などいろいろ聞くことができます。

さらに昨年度から、デイサービスセンター星の里の協力を得て、朝の体操の時間に参加しています。福祉のプロがどのような仕事をするのか、利用者の皆さんがどのように過ごされているのか見学をします。実体験した皆さんからは、「大変楽しかった」「福祉を目指そうと思っただ」などの感想をいただいています。



▲最新の福祉機材も体験



▲本校の特徴について説明

デイサービスのスタッフや、利用者の皆さんには温かく迎えていただいております。同じ社会福祉法人の中に本校があるからこその企画です。

本校は、介護福祉士の国家資格を取得する厚生労働省の指定養成施設です。お知り合いに福祉のプロになって活躍したい方がおられましたら、是非本校にご紹介ください。

また多くの地域住民の皆さんにもお越しいただければ幸いです。1日体験入学への参加も大歓迎です。

**** 協力者からのメッセージ ****

尾道大学 芸術文化学部 デザインコース 准教授 高岡陽先生

「他者の感覚作業を二つの形にまとめる作業は難しくもあり、楽しくもあり。制作者として勉強になります。今回いただいた機会は、カレンダーという「フォーマット」に対しての挑戦でもあります。この難解なパズルに尾道大学の大学院生が挑戦します。その仕上がりにご期待ください。」

デザインを手がける大学院生
福山奈津子さん 河村真名さん

「テーマは「わ」です。輪・和・話など人と人とのつながりを表しています。一つ一つの作品から発せられるパワーが生きるカレンダー作りを目指します。」



どんぐり工房2012カレンダー (1部 1000円)
お問い合わせ: 尾道さつき作業所 2011年10月1日 発売開始予定
☎(0848) 23-8004 (担当: 森川)

尾道大学とのコラボでチェンジ! 『2012カレンダー』



恒例のどんぐり工房カレンダー2011年版を現在製作中です。

「新しいことを取り入れたい!」「地域とのつながりを大切にしたい!」そんな願いを胸に新たにスタートしたカレンダー制作は、今回なんと尾道大学とのコラボレーション(共同制作)が実現し、カレンダーのデザインを協力していただくことになりました。

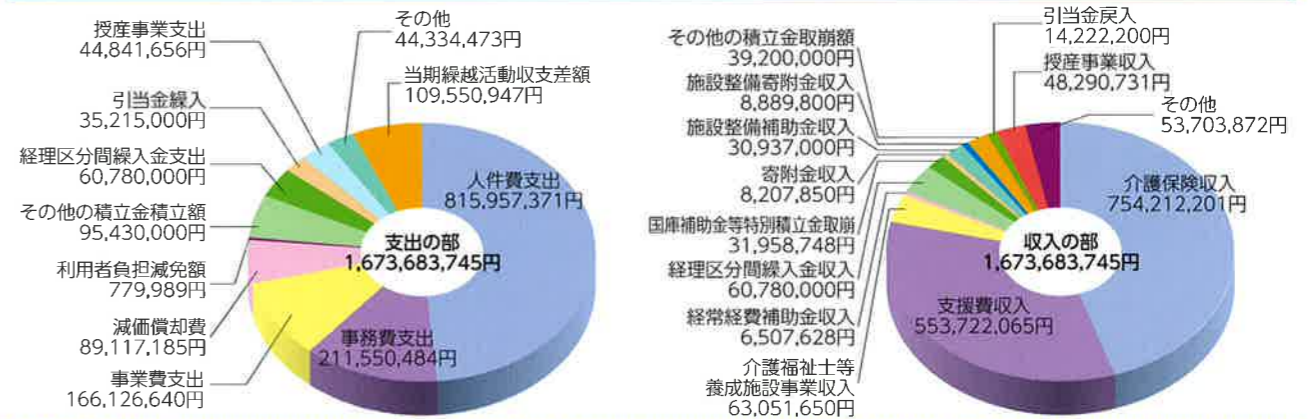
さらに、絵画作品に児童デザイナーもあいが初参戦!総勢19名の子どもたちが、元気いっぱい力強い大作を完成させました。

尾道大学とあいがいのフレッシュなエネルギーと、どんぐり工房の感性がミックスされ2012カレンダーは生まれ変わります。

▲「みて〜と自慢の作品を披露中」

▲作品作りに夢中の子どもたち

2010年度 尾道さつき会収支状況



寄付者一覧

左記の団体より助成金の交付がありました。

広島県共同募金会
「すだちの家」に利用者移送用車両を1台

寄付者一覧
二〇一二年四月〜二〇一二年七月 順不同 敬称略
〈寄付金〉 小路浅夫、松浦真英、福岡房子、小形元信、鼻孝子、廣谷毅、池田敏子、水戸川賢造、山根智恵子、鳥島サチ子、中野千里、宮畑三男、神原浩之、鼻敏夫、横原益三、國貞峯子、万福寺仏教婦人会
〈寄付物品〉 須田稔 向島地区手をつなぐ親の会 匿名1名

ご案内
むかいしま作業所 まるごと体験会
~来て見て感じてみん祭!!~

場所 むかいしま作業所
尾道市向島町6419

日時 10月9日(日)
10:00~14:00(雨天決行)
TEL:0848-44-6460(担当:倉光、橋本)

むかいしま作業所の日常にぜひふれてみてください。

緑のカーテンで涼しい夏

山波の家 藤原 元紀

▼立派なゴーヤができました



山波の家には花や植木が好きな利用者さんが多く、庭にはいつも季節の花がたくさん咲いており、見る人に癒しを与えています。

今年の夏は、昨年収穫した朝顔とひまわりの種を利用者さんと職員が協力して育てています。ひまわりの芽が出てくるたびに喜びを分かち合っています。今年は苗がたくさんできたため、花壇を増やし、尾道市が進めている「緑のカーテンコンテスト」に挑戦することにしました。

花壇作りや緑のカーテンのネット張りについての知識がほとんどなかったため、親しい民生委員さんに相談すると、幸いにも民生委員高齢者部会の方からボランティアの申し出がありました。民生委員さん数名と

▼きれいな朝顔が咲いた



◀省エネ対策はこれできまり

利用者さん、職員共同でひまわり畑と緑のカーテン作りを行いました。支柱は民生委員さんからいただいた竹を使い、想像以上の出来栄になりました。大きく成長したひまわりと緑のカーテンは、利用者さんに大好評です。

花壇いっぱい朝顔とゴーヤの緑のカーテンにより、猛暑と言われる今年の夏を涼しく快適に過ごすことができそうです。また省エネ効果もあり、大いに役立っています。今年もたくさんの種が収穫できそうなので、来年も挑戦しようという利用者さん、職員みんなで盛り上げたいです。

「職場と家庭の両立支援」の取り組みを続けています

総務課 武縄 栄洋

私たちは、障害者や高齢者が安心して生活できる地域社会の実現を目指しながら、日夜がんばっています。職場は約80%が女性職員です。仕事の上で女性のもつ能力が十分発揮でき、安心して働けることができるように「仕事と家庭を両立できる職場環境の整備」に取り組んで4年目に入りました。

次世代育成対策推進法に基づき、2008年に広島県仕事と家庭の両立支援企業登録をしました。過去3年間、ノー残業デーの設定や残業削減、子育てを行う職員の短時間勤務制度などに取り組み、具体的な成果を上げました。さらに、登録から尾道市で初めての認定企業に向けて、取り組みを延長しました。

職員が仕事と家庭の両立支援制度を気兼ねなく利用できる職場環境を整備し、職員の「やる気」や「働きがい」を引き出し、よりよい人材の確保と定着を図っています。

新任職員紹介

星の里居宅介護支援事業所
介護支援専門員
田中 文恵



●この職業に就いたきっかけ、この仕事を選んで良かったと思うことを教えてください。

周りに福祉の仕事をしている人が多く、いろいろな話を聞くうちに、高齢者にかかわる仕事もいいな、自分も頑張ってみようと思いました。良かったことは、仕事を通して自分自身が成長できることです。忍耐力、持続力、自律する気持ちが身についたと思います。

●今、一番興味があることは何ですか？

一番の宝物、1歳7ヶ月の子供の成長です。一瞬一瞬、成長していると思います。朝できなかったことが夜にはできるようになっていたりするので、日々おもしろくて、見ていて飽きません。元気に大きくなってほしいです。

▼ろうを取り出す秘密道具



灯りまつり本番は10月8日で、目標は3万個。一大イベントにつながる1つ1つの作業工程が利用者さんには新鮮なようで、毎日やりがいを感じながら取り組んでいます。作業は、予想を上回るスピードで進んでおり、地域行事への参加の大切さを感じています。

「灯りまつり」私たちもお手伝い

むかいしま作業所 大月 多恵



▲西国寺を照らす幻想的な灯り 2008年10月撮影

作業所に通う利用者さんが、地域の祭りに関わる方法はないかと、尾道市に相談を持ちかけました。それがきっかけとなり尾道市恒例の灯りまつりを手伝うことになりました。最近では、月にディスプレイパレードが行われた「希望の灯りまつり」で、当法人の障害者施設が作業に関わったろうそくが使用されました。

作業は、容量の少なくなつたらろうそくをガラス容器から取り出し、新しいろうそくを詰め替えるというものです。容器に密着したろうそくを取り出すことには頭を悩ませましたが、試行錯誤の末、少しの力できれいに取り出せる補助具を考案しました。



▲ボールリレーで優勝!!

おのみち元氣塾は、尾道市の介護予防事業として、専門の講師が運動機能や口腔機能、栄養状態の改善などの指導を週2回、6ヶ月間行います。どんな活動をしているかあまり知られていないと思いますので、具体的に紹介します。

朝、来られるとバイタルチェックで、その日の体調を看護師が確認します。次に元氣塾オリジナルの口腔体操で、唾液腺マッサージと舌や口を動かす、むせや口の乾燥を防ぎます。この体操で「むせなくなったので安心して食事ができるようになった」と話しやすくなった」と多くの方が言われます。

続いて体の体操です。転倒を予防し日々の生活が楽に送れるように、筋力アップや関節の動かせる範囲を広げるストレッチを行います。講師の

若者の秘訣は体操と笑顔

おのみち元氣塾 渡邊 尚美



▲楽しく元気にトランポリン



▲ハイ！ポーズ!!

「使われなくなつて眠っている筋肉を目覚めさせてあげましょう。動かしている部位を意識して」のかけ声で、皆さん熱心に取り組みます。特に、姿勢良く、を意識してもらおうように声かけをしています。肩甲骨を寄せ、頸を引き下腹に力を入れて立つと、肺が広がり呼吸も楽にできます。また、腰の負担も減り、見た目も若々しくなります。体操中はできるだけたくさん笑ってもらうよう心がけています。

その他にも、栄養指導でバランス良く手軽に作れる食事を調理してみんなで食べたり、親睦を兼ねたドライブなどに楽しく参加していただいています。心身ともに元気がなくなって卒業し、自宅でも健康作りを続けてもらえるよう工夫して活動が続いています。



▲何キロ走ったかな?